

平成27年度 施策目標に関する市民意識調査(市民アンケート)集計結果

(概要版)

1. 調査概要

調査対象：仙台市に居住する満18歳以上の男女6,000人（住民基本台帳より無作為抽出）

調査方法：無記名式の質問紙調査。郵送による配付・回収

調査期間：平成27年4月17日～平成27年5月8日

調査項目：復旧・復興施策等の進捗状況評価、力を入れるべき施策、仙台市における住みやすさなど

有効回収数(率)：2,291人(有効回収率 38.2%)

2. 調査結果

(1) 各施策等の調査結果まとめ

●復旧・復興施策

- “進んでいる+どちらかといえば進んでいる”の割合が、10項目中9項目において昨年度を上回った。特に「集団移転や復興公営住宅の建設などによる安全な住まいの確保」が約10ポイント上昇した。
- “今後、特に力を入れていくべき施策”について、昨年度と1位と2位の順位が入れ替わり、「就労支援や心身の健康確保など、被災された方々への生活再建支援」が1位となり、ソフト面での施策が重要になってきている。

●復旧・復興以外（基本計画関連）の施策

- “評価する+どちらかといえば評価する”の順位について、昨年度の上位10項目中9項目が今年度も上位10項目に入り、特に上位3項目については、3年連続で同じ順位となっている。
- “今後、特に力を入れていくべき施策”については、概ね同じ項目が上位となっている。

●仙台市における住みやすさなど

- 住みやすさ、愛着、今後の居住意向のいずれも、全体として高い評価となっている。
- 住みやすい理由としては、「自然環境に恵まれている」「通学、通勤、買い物など生活が便利」などが上位となっている。

(2) 復旧・復興施策の進捗状況

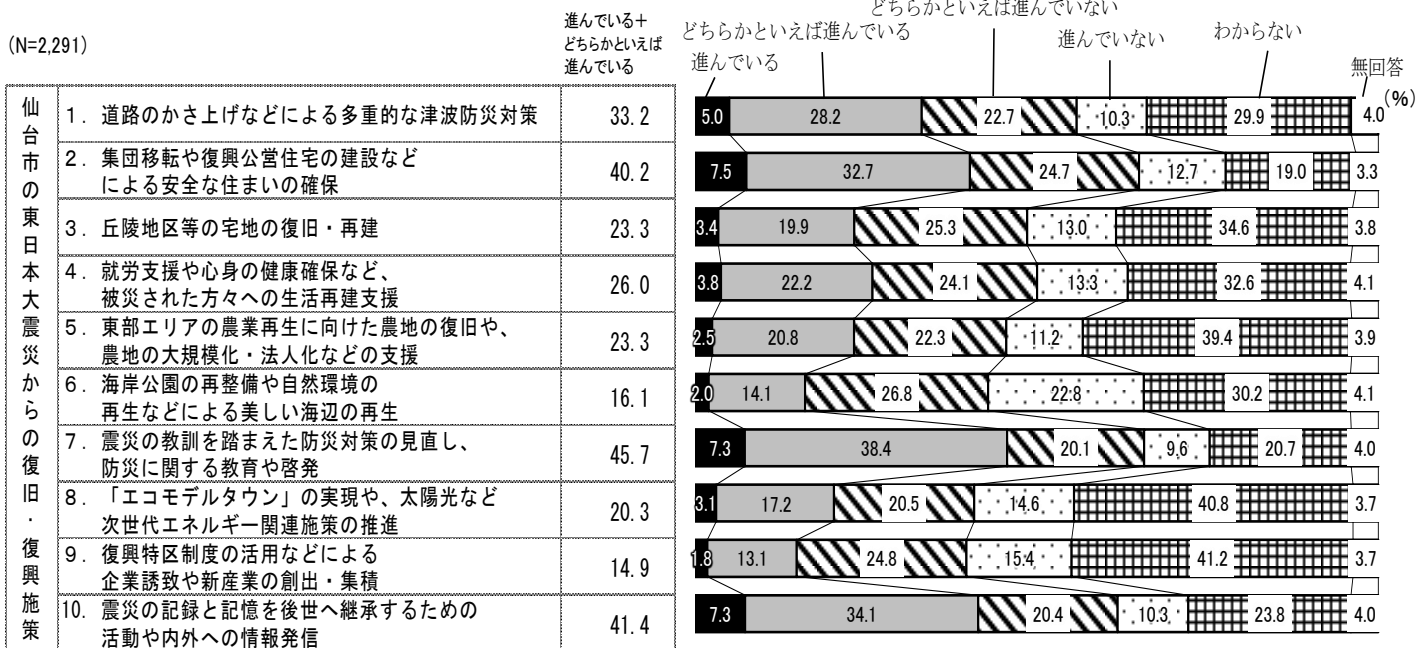
① “進んでいる+どちらかといえば進んでいる”の項目について

- 項目ごとの数値は概ね上昇しており、事業の進捗が着実に市民の方々に評価されている。
- 上位5項目は昨年度と変わらないが、それぞれの項目の割合は上昇しており、時間の経過とともに本市の復旧・復興を実感している市民の方々が増加してきていると考えられる。

② 今後、特に力を入れていくべき施策について

- 上位5項目は概ね変動は無いが、被災者への生活再建支援施策が1位となり、復旧・復興に向けた取り組みに対する市民の意識がハード面の施策からソフト面の施策へと変化し、次の段階へと向かっていることが見受けられる。

進捗状況評価



項目別評価の“進んでいる+どちらかといえば進んでいる”（上位5項目の経年比較）

	平成 27 年度		平成 26 年度		平成 25 年度	
1位	震災の教訓を踏まえた防災対策の見直し、防災に関する教育や啓発	45.7%	震災の教訓を踏まえた防災対策の見直し、防災に関する教育や啓発	41.7%	震災がれきの処理（平成 25 年度まで）	66.7%
2位	震災記録と記憶を後世へ継承するための活動や内外への情報発信（平成 26 年度新設）	41.4%	震災記録と記憶を後世へ継承するための活動や内外への情報発信（平成 26 年度新設）	40.0%	震災の教訓を踏まえた防災対策の見直し、防災に関する教育や啓発	39.8%
3位	集団移転や復興公営住宅の建設などによる安全な住まいの確保	40.2%	集団移転や復興公営住宅の建設などによる安全な住まいの確保	30.6%	就労支援や心身の健康確保など、被災された方々への生活再建支援	26.1%
4位	道路のかさ上げなどによる多重的な津波防災対策	33.2%	道路のかさ上げなどによる多重的な津波防災対策	27.0%	東部エリアの農業再生に向けた農地の復旧や、農地の大規模化・法人化などの支援	19.7%
5位	就労支援や心身の健康確保など、被災された方々への生活再建支援	26.0%	就労支援や心身の健康確保など、被災された方々への生活再建支援	24.1%	集団移転や復興公営住宅の建設などによる安全な住まいの確保	19.2%

今後、特に力を入れていくべき施策（上位5項目の経年比較）

	平成 27 年度		平成 26 年度		平成 25 年度	
1位	就労支援や心身の健康確保など、被災された方々への生活再建支援	29.8%	集団移転や復興公営住宅の建設などによる安全な住まいの確保	32.1%	集団移転や復興公営住宅の建設などによる安全な住まいの確保	37.4%
2位	集団移転や復興公営住宅の建設などによる安全な住まいの確保	26.1%	就労支援や心身の健康確保など、被災された方々への生活再建支援	30.8%	就労支援や心身の健康確保など、被災された方々への生活再建支援	33.1%
3位	震災の教訓を踏まえた防災対策の見直し、防災に関する教育や啓発	18.8%	震災の教訓を踏まえた防災対策の見直し、防災に関する教育や啓発	21.6%	震災の教訓を踏まえた防災対策の見直し、防災に関する教育や啓発	22.2%
4位	震災記録と記憶を後世へ継承するための活動や内外への情報発信（平成 26 年度新設）	17.6%	「エコモデルタウン」の実現や、太陽光など次世代エネルギー関連施策の推進（平成 26 年度新設）	17.8%	道路のかさ上げなどによる多重的な津波防災対策	21.7%
5位	「エコモデルタウン」の実現や、太陽光など次世代エネルギー関連施策の推進（平成 26 年度新設）	16.5%	震災記録と記憶を後世へ継承するための活動や内外への情報発信（平成 26 年度新設）	17.3%	復興特区制度の活用などによる企業誘致や新産業の創出・集積	19.5%

(3) 復旧・復興以外（基本計画関連）の施策の進捗状況

- ① “評価する+どちらかといえば評価する”の項目について
 - ・文化・スポーツ関連の3項目が上位を占めている。近年同様の傾向であり、市民の評価として定着しているものと考えられる。
- ② 今後、特に力を入れていくべき施策について
 - ・上位5項目の順位には概ね変動が無く、市民が重視するニーズが明瞭に浮かび上がってきている。

項目別評価の“評価する+どちらかといえば評価する”（上位5項目の経年比較）

		平成 27 年度		平成 26 年度		平成 25 年度			
1位	文化 スポーツ	仙台七夕まつりや仙台国際ハーフマラソンなどさまざまなイベントを生かした仙台ブランドづくり	77.1%	文化 スポーツ	仙台七夕まつりや仙台国際ハーフマラソンなどさまざまなイベントを生かした仙台ブランドづくり	84.2%	文化 スポーツ	仙台七夕まつりや仙台国際ハーフマラソンなどさまざまなイベントを生かした仙台ブランドづくり	82.8%
2位	文化 スポーツ	プロスポーツやさまざまなスポーツイベントなどを観ることができる環境づくり	66.1%	文化 スポーツ	プロスポーツやさまざまなスポーツイベントなどを観ることができる環境づくり	70.0%	文化 スポーツ	プロスポーツやさまざまなスポーツイベントなどを観ることができる環境づくり	69.0%
2位 (3位)	文化 スポーツ	「せんくら」や中心市街地でのアートイベントの開催など、文化芸術に触れられる環境づくり	66.1%	文化 スポーツ	「せんくら」や中心市街地でのアートイベントの開催など、文化芸術に触れられる環境づくり	68.6%	文化 スポーツ	「せんくら」や中心市街地でのアートイベントの開催など、文化芸術に触れられる環境づくり	67.9%
4位	環境	ごみ減量・リサイクルの推進など、資源を有効に循環させる都市づくり	65.7%	環境	ごみ減量・リサイクルの推進など、資源を有効に循環させる都市づくり	67.8%	文化 スポーツ	文化センターの整備や各種イベントの開催など、音楽・アート等に市民が取り組める環境づくり	67.7%
5位	文化 スポーツ	文化センターの整備や各種イベントの開催など、音楽・アート等に市民が取り組める環境づくり	62.4%	自然	市街地の緑化や公園整備など、杜の都の緑を守り育む「百年の杜づくり」の推進	65.6%	環境	ごみ減量・リサイクルの推進など、資源を有効に循環させる都市づくり	65.8%

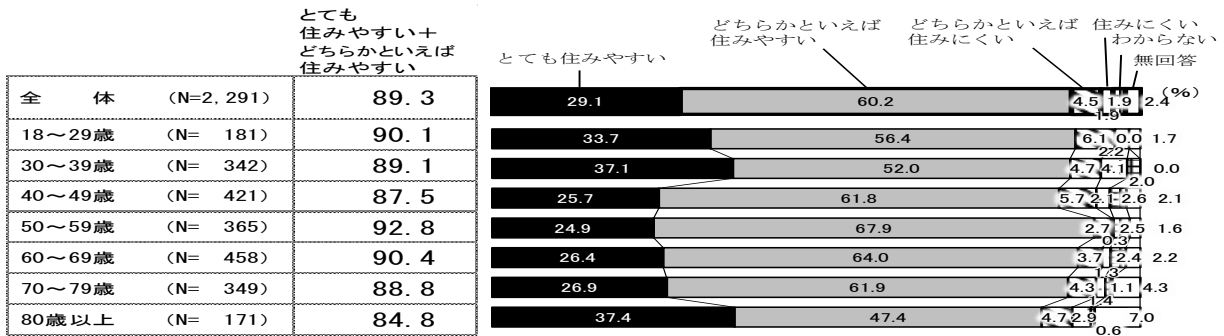
今後、特に力を入れていくべき施策（上位5項目の経年比較）

		平成 27 年度		平成 26 年度		平成 25 年度			
1位	子育て	保育所の整備や延長保育・一時預かりの充実など、安心して子育てができる社会づくり	42.4%	子育て	保育所の整備や延長保育・一時預かりの充実など、安心して子育てができる社会づくり	46.7%	子育て	保育所の整備や延長保育・一時預かりの充実など、安心して子育てができる社会づくり	46.0%
2位	交通	鉄道やバスなどの公共交通を中心とする利便性の高い交通体系づくり	42.1%	交通	鉄道やバスなどの公共交通を中心とする利便性の高い交通体系づくり	45.1%	交通	鉄道やバスなどの公共交通を中心とする利便性の高い交通体系づくり	44.2%
3位	安全 安心	医療サービスや救急医療体制の充実	35.3%	安全 安心	医療サービスや救急医療体制の充実	39.6%	安全 安心	医療サービスや救急医療体制の充実	38.3%
4位	高齢者	特別養護老人ホームなどの介護サービス基盤の整備や、地域が高齢者を支える環境づくり	34.2%	高齢者	特別養護老人ホームなどの介護サービス基盤の整備や、地域が高齢者を支える環境づくり	38.4%	高齢者	特別養護老人ホームなどの介護サービス基盤の整備や、地域が高齢者を支える環境づくり	34.5%
5位	教育	子どもたちが健やかに成長し、社会でたくましく「生きる力」を育むための学校教育の充実	33.0%	教育	子どもたちが健やかに成長し、社会でたくましく「生きる力」を育むための学校教育の充実	31.7%	教育	子どもたちが健やかに成長し、社会でたくましく「生きる力」を育むための学校教育の充実	32.4%
				協働	若者の地域活動やボランティア活動への参加など、若者の力を活かしたまちづくり				

(4) 仙台市における住みやすさなど

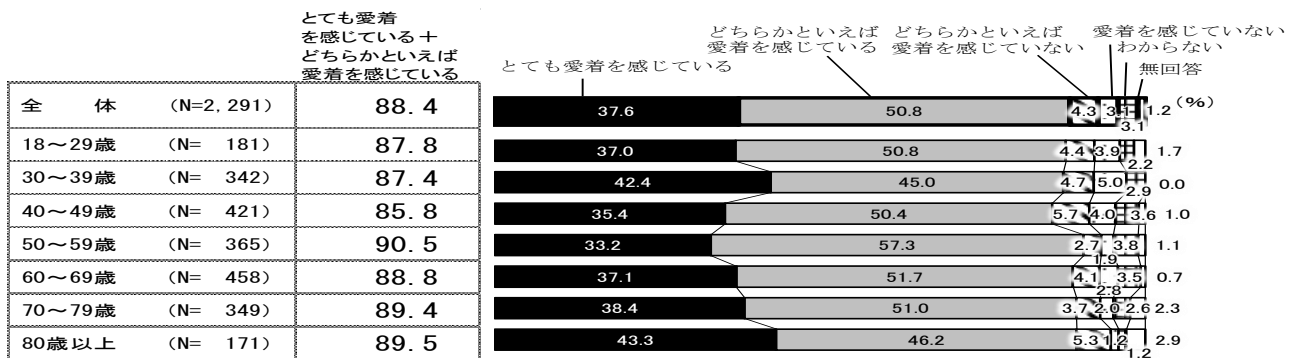
- ・「住みやすさ」「愛着」「居留意向」とともに9割近くが高い評価をしている。
- ・住みやすいと思う理由として「自然環境に恵まれている」「通学、通勤、買い物など生活が便利」と回答した割合が6割を超えている。
- ・年代別に見ると、「住みやすさ」「愛着」とともに、30歳代と80歳以上において、“とても住みやすい” “とても愛着を感じている” と高い評価をしている方々が4割を超えている。
- ・「居留意向」について、概ね年齢層が高くなるほど、“住み続けたい” という評価の割合が高くなっている。

① 仙台市の住みやすさ

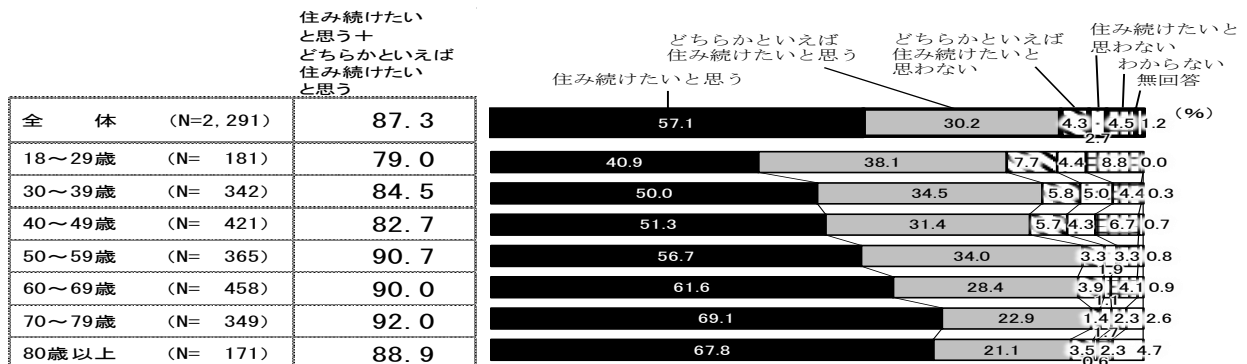


住みやすいと思う理由 上位3位 (N=2,046)		
(とても住みやすい+どちらかといえば住みやすいと思う理由)		
1位	自然環境に恵まれている	65.3%
2位	通学、通勤、買い物など生活が便利	62.3%
3位	友人・知人などがいる	46.5%

② 仙台市への愛着



③ 今後の仙台市への居留意向



平成 27 年度 施策目標に関する市民意識調査（市民アンケート）報告書（概要版）

仙台市 まちづくり政策局 政策企画部 政策企画課

〒980-8671 仙台市青葉区国分町 3 丁目 7 番 1 号

TEL 022-214-1268